

調査・研修等計画届出書

令和 7 年 8 月 7 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 秀幸

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和7年 8月27日 から 8月28日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	第20回全国市議会議長会研究フォーラム i n 札幌	
会場名（会場所在地）	札幌パークホテル（中継会場）	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のテーマは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」ということである。本市も立候補者が減少傾向にあり、さらなる議会改革・活性化が必要である。議会改革活性化特別委員会が立ち上がる中、議会・議員の魅力向上の取組を学ぶ。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	三宅 聡	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 7年 9月 23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 秀幸

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 7年 8月27日から 8月28日まで（1泊2日）
調査先・研修名	第20回全国市議会議長会研修フォーラム in 札幌
会場名（会場所在地）	札幌パークホテル（中継会場）
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のテーマは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」ということである。本市も立候補者が減少傾向にあり、さらなる議会改革・活性化が必要である。議会活性化推進特別委員会が立ち上がる中、議会・議員の魅力向上の取組を学ぶ。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
基調講演 伊吹 文明 氏 [元衆議院議長] <ul style="list-style-type: none">・市長と議員の立場→二元代表制・国・県・市→行政権力の配分を考える・市→国・県の補助金なくして運営できない・議員の退職後の保障必要・志はあるが、財産がない→選挙に出れない・地域住民から尊敬される存在になる・選ばれた者としての誇りをもつ・住民の意見を的確に市長に伝える	

パネルディスカッション

辻 陽 氏 [近畿大学法学部教授]

- ・なり手不足をもたらす根本的な問題として、どのような議員像を想定するかによって、求める議員像によって然るべき定数・議員報酬の額も異なる
- ・小規模自治体ほど一般会計に占める議会費の割合は大きく、議員報酬を上げると自治体財政を大きく圧迫する
- ・議員は個別利益の実現を目指す傾向さらに執政を支える必要がないため、無責任化しやすいとの議論

牧原 出 氏 [東京大学教授]

- ・【短期】 当面必要な措置への勧告・提言
 専門人材供給の補完、システム標準化
- ・【中期】 人口減の進行管理を地域単位で行う枠組みづくり
 広域レベルで議会間の連携・議員間のコミュニケーションも必要に
- ・【長期】 地方制度の抜本的な見直しに踏み込む
 三議長会での活動が重要に
- ・どの局面でも自治による問題解決が必須
 国・地方の議員による丁寧な状況の聞き取りが重要

白石 洋一 氏 [読売新聞東京本社政治部次長]

- ・地方に政党政治はそぐわない？
- ・クォーター制、立候補休暇、夜間議会、オンライン導入 etc
- ・ふるさと議員制度（仮称）導入の可能性は？
- ・やはりお金の問題をどうするか
 →（2005年）は普通選挙法成立から100年。ガラパゴス化した日本の選挙制度。
 なり手不足をテコに大胆な見直しの必要性

山下 節子 氏 [山口県宇部市議会議長]

- ・議員のあり方検討特別委員会の設置（R7年4月設置）
 人口減少社会のなか、今後の宇部市議会にとって適正な議員定数を議論・検討する
- ・議員のなり手不足について様々な角度から対策の検討を行う
 議会・議員活動の情報発信の強化
 議員報酬等の見直し
 議員の資質向上

長内 直也 氏 [北海道札幌市議会議長]

- ・主権者教育の取組
ホームページで議場を見学した小中学生を紹介
教育委員会を通じて夏休みの自由研究に議場見学を
札幌市議会の一年間の流れが分かるチラシの作成
- ・市議会キッズページ
- ・市議会子ども教室

課題討議

牧瀬 稔 氏 [関東学院大学法学部地域創生学科教授]

- ・無投票率が高いのは、都道府県議会議員選挙と町村議会議員選挙である。
- ・市議会議員選挙は、趨勢的には無投票率が拡大しているものの低水準である。指定都市議会議員選挙は近年改善している。
- ・規模の小さな市議会になるほど、なり手不足が顕在化しつつある。
- ・なり手不足は、大きく諦観的・必然的の2パターンあると推察される。

今井 康善 氏 [長野県岡谷市議会前議長]

- ・令和5年の市議会議員選挙が定数割れの無投票率に（定数18名）
- ・「議員のなり手不足に向き合う」シンポジウム開催
基調講演 北川 正恭 氏
パネルディスカッション テーマ「岡谷市議会に18名は必要か？」
- ・市民との対話集会 全6回開催
- ・アンケート結果等を踏まえて全議員で構成する議会改革検討委員会で結論を示していく
- ・定数18から16へ（令和7年6月定例会・賛成12反対5）

平神 純子 氏 [鹿児島県南さつま市議会議員]

- ・鹿児島県内の女性議員100人を目指して！女性ゼロ議会を無くす！
- ・1996年鹿児島県内の女性議員を100人にする会を立ち上げ7回シリーズの政治参画セミナーや県内に出向き出前セミナー、行政キャラバン、発掘から選挙まで徹底したボランティアで支え、これまで15人ほど関わる。100人はクリアしたが、翌月には99人となる。残されたゼロ議会6自治体に女性議員を誕生させるのが次なる目標である。
- ・調査研究として「全国自治体女性議員マップ」や「鹿児島県96市町村・女性候補者の歴史」、議会の一般質問を男女で比較するなど。

中野 進 氏 [石川県白山市議会議長]

- ・令和3年2月の選挙で、告示2週間前でも定数より2人少ない出馬表明
- ・投票率が前回選挙よりもマイナス7.48%
- ・現職は全員当選
 - 議員のなり手不足に対する危機感が顕在化
- ・未来へつなぐ議員の在り方検証委員会の設置 (R3・5月)
- ・議員討論会の開催 (R3・7月)
- ・白山市の未来へつなぐシンポジウムの開催 (R3・11月)
- ・「みんなでギカイを考えるキカイ」実行委員会の設置 (R4・4月)
 - 市民との意見交換「みんなでギカイを考えるキカイ」の開催 (R4・5月～3月)
- ・政治倫理条例の一部改正 (R5・3月)
- ・広報広聴委員会の充実 (R5年・3月)
 - 議会報告会、意見交換会を積極的に実施 (R5・4月～)

調査先 (主な質疑・応答内容) / 研修 (受講後の感想)

一通り学ぶことができたが、本会場である札幌文化芸術劇場 hitaru ではなく中継会場である札幌パークホテルでの受講であったのが残念であった。

調査・研修の成果・考察

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

全国的に、ここ数回の統一地方選挙では、無投票当選者や定員割れが増加してきている中、本市はまだそこまでの危機感はないかもしれない。しかしながら、研修を受けて、本市の人口減少・高齢化の傾向を鑑みるとよそ事ではない。若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備が必要である。

今後、議会活性化推進特別委員会を中心に、議会・議員の在り方をさらに議論し活性化を図るとともに、議員定数、議員報酬、広聴・広報の強化など検討していくことの必要性を感じた。

行程表

乗り換え案内ヨルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 8 月 27 日	高蔵寺	JR	片道	金山	20.7	km	430	円	円
	金山	名鉄	片道	中部国際空港	35.7	km	910	円	円
	中部国際空港	飛行機	片道	新千歳空港	988	km	16,800	円	円
	新千歳空港	JR	片道	札幌	46.6	km	1,230	円	円
	さっぽろ	地下鉄	往復	中島公園	1.9	km	210	円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
スマイルホテルプレミアム札幌					011-251-7055		14,814 円		
備考欄									

34,394 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
7 年 8 月 28 日	中島公園	地下鉄	片道	さっぽろ	1.9	km	210	円	円
	札幌	JR	片道	新千歳空港	46.6	km	1,230	円	円
	新千歳空港	飛行機	片道	中部国際空港	988	km	28,810	円	円
	中部国際空港	名鉄	片道	金山	35.7	km	910	円	円
	金山	JR	片道	高蔵寺	20.7	km	430	円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 31,590 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
							km		円
							km		円
							km		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 0 円

宿泊費 合計

14,814 円

交通費 合計

51,170 円

鉄道代合計 : 5,560円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

65,984 円